

市議会だより



市庁舎特別室



YKK AP株式会社 滑川製造所



子ども図書館

小諸市議会との親善交流会

(平成27年 4月 16日～17日)

平成27年 3月定例会一覽

*****		平成27年 3月定例会一覽		*****	
合 計	予 算 (原案可決)	13 件	○委員会 4・11・23日 議会運営委員会 12・13日 総務文教委員会 16・17日 民生環境委員会 18・19日 産業建設委員会	○本会議 (主な内容) 3日 会期の決定 提案理由説明 補足説明 4日 補足説明 代表質問・一般質問 10日 一般質問 11日 議案の委員会付託 23日 委員長報告・質疑・討論・採決 追加提案 提案理由説明・採決 議員提出議案 提案理由説明・質疑・討論・採決 都市計画審議会委員の推薦 議員派遣 閉会中の継続審査	開 会 3月3日 閉 会 3月23日 } 会期21日間
	議案の審議結果	10 件			
	その 他 (原案可決)	22 件			
	その 他 (原案承認)	1 件			
	人 事 (原案同意)	1 件			
	人 事 (原案異議なし)	3 件			
	議員提出 (原案可決)	1 件			
合 計		51 件			
*****		*****		*****	

議会を傍聴しませんか。次回の定例会は6月です。

平成27年度当初予算

一般会計・特別会計・企業会計を合わせて

総額218億380万円を可決

(前年度比較1.9%の増)

3月定例会

市議会3月定例会は、3月3日から23日までの21日間の会期で開催されました。

審議した案件は、平成27年度一般会計予算をはじめ、平成26年度一般会計補正予算から条例等の市長提出議案48件(追加議案4件を含む)、議員提出議案3件、議員派遣及び閉会中の継続審査の合計53件です。

審議の結果、市長提出議案の48件は原案どおり可決または承認、同意等されました。また、議員提出議案の1件は原案どおり可決されましたが、2件については原案否決となり、議員派遣及び閉会中の継続審査につきましては原案どおり可決されました。

本会議

◇3月3日に本会議を開き、まず会期を23日までの21日間と決めた後に、平成27年度一般会計予算や平成26年度一般会計補正予算をはじめとした予算及び条例等の市長提出議案44件が一括上程され、市長から提案理由の説明がありました。

一旦、本会議を閉じ、全体委員会を開いて担当部課長から議案の補足説明がありました。(4日も補足説明)

◇10日、11日は代表質問及び一般質問が行われ、14名の議員が市政一般に対する質問及び提出案件に対する質疑を行った後、市長提出議案を所管の各常任委員会へ付託しました。

◇最終日の23日には本会議を再開し、今定例会中の発言の一部削除についての報告の後、総務文教・民生環境・産業建設の各常任委員長から、それぞれの付託議案の審査結果の報告がありました。

次に、議案第1号、議案第4号、議案第11号及び議案第22号に対する反対討論が1名の議員からありました。

分離採決の結果、議案第1号、議案第4号、議案第11号及び議案第22号については、各常任委員長の報告のとおり賛成多数で可決され、その他の40議案は一括して採決され、各常任委員長の報告のとおり賛成全員で可決または承認されました。

その後、市長から人事案件として、滑川市固定資産評価審査委員会の委員に石川新作氏(大浦)の選任、人権

擁護委員候補者に野嶋三千代氏(加島町)、若林千香子氏(上小泉)、石坂好美氏(栗山)の推薦について追加提案され、それぞれ同意または異議なしといたしました。

続いて議員提出議案3件の提案理由説明と採決を行い、1件が可決、2件が否決されました。

引き続き、都市計画審議会委員に水野達夫氏、高木悦子氏、中島勲氏の3名を指名推薦し、最後に議員派遣と閉会中の継続審査を議決して、3月定例会を閉会といたしました。

第1回臨時会

平成27年第1回市議会臨時会は、会期を4月10日の1日間と決めた後に、工事請負契約の締結についての市長提出議案1件が上程され、市長から提案理由の説明がありました。

次に、市長提出議案を所管の総務文教委員会へ付託しました。

その後、本会議を再開し、総務文教委員長から付託議案の審査結果の報告があり、採決の結果、委員長の報告のとおり、賛成全員で可決されました。

最後に議員派遣を議決して、第1回臨時会を閉会といたしました。

代表質問



5 4 3 2 1

入札公告の前倒しについて
滑川運動公園整備について
有害鳥獣被害防止対策について
博物館の活用策について
子どもたちの健全育成について
(会派「自民クラブ」)

浦田 竹昭 議員

Q児童館建設に伴う入札公告の前倒しについての理由、また前例のない初めのことでもあり先例とならないか見解を問う。

等の開催により、利用者の増進やリピーターの確保に努めていく。

Q有害鳥獣被害防止対策において、行政・捕獲隊と地域住民との連携、地域ぐるみの協力体制の整備、及び組織結成の促進と補助支援制度についての見解を問う。

は景観等問題で慎重に、太陽光発電は屋上が重量に耐える構造でないため難しく、一般開放と双眼鏡設置は防犯上の観点から難しい。定点カメラは放送局の判断による。

A 碓井産業民生部長 個人数の管理等、地域住民、行政、捕獲隊が連携して、鳥獣にとって魅力のない環境づくりが重要と考える。活動経費は、中山間地域等直接支払交付金や多面的機能支払制度を活用していただきたい。

Q滑川運動公園にパークゴルフ練習場ができれば、東福寺野自然公園パークゴルフ場の利用者の減少が危惧され、その対応策について見解を問う。

Q博物館の活用策として、外構の壁にLEDによる光表示板の設置、太陽光発電システムの設置、屋上的一般客への開放と双眼鏡の設置、及びテレ

A 砂田建設部長 駅前

80台分の駐車場の設置や、趣向を凝らしたイベント

ビ放送の定点カメラの設置等、検討できないか見解を問う。

A 伊東教育長 光表示板

社会、心の健全育成の観点から、道徳教育も含めて、命の大切さの学び、保護者の親学の学びの機会についての見解を問う。

A 折田教育次長 教育活動

けがえのないものであることを実感するような取り組みを行っており、親子についても講演会を予算化した。

予算化した。

予算化した。

代表質問



・国民健康保険について

(会派「日本共産党議員団」)

古沢利之 議員

Q市長はさまざまな場所で、国民健康保険の財政が黒字になったと発言しているが、その要因をどのように見ているか。

町村ごとの標準保険税率や国保事業納付金を算定するなど総括を行い、実務的なことは市町村が行うとされている。

A 濱松市民課長 県は、市

A 上田市長 市は健康寿命延伸、病気の重症化予防に取り組んでいる。

一人当たりの医療費は全国・県平均の伸び率より低く、各種施策が医療費抑制の一因になっているのではないか。

Q医療費に関わる保険給付費など歳出は減っていない。23年度の保険税値上げで、歳入が約1億円増えた。市民の負担が増えた認識を持つべきだ。

A 上田市長 そのとおり

だと思ふ。

Q政府は今後、国保の運営を都道府県単位で行うことを目指している。実務が県で行なえるか。

実務が県で行なえるか。

Q保険料(税)はどのように決定されるか。

市町村がそれに合わせて保険料率を決定するものと想定している。

Q保険料を抑えるために、一般会計から繰入れることは不適切とされる一方で、割り当てられた納付金を完納するためには、一般会計からも入れて、ということにならないか。

A 濱松市民課長 細かな指

示はまだないのでわかりませんが、収納率のアップなどで努力する。

Q独自に行っている保健

事業は継続できるのか。

A 濱松市民課長 現在のミニドック健診や、特定健診時に検査項目を4項目追加していることなどは、引き続き実施していく。

Q国保加入者以外の健診など、協会けんぽなど他の保険者と連携した取り組みは検討できないか。

A 荒木市民健康センター所長 特定健診について、他の保険者の受診状況は把握していない。協会けんぽ富山支部では、把握している受診データを、平成27年に該当市町村に提供の予定と聞いている。

その他の質問事項

Q TPP交渉について

Q TPP交渉について

Q TPP交渉について

一般質問



2 1

空き家対策について
滑川市の魅力アップについて

青山 幸 生議員

Q 滑川市の空き家の件数、管理不良な家の件数、倒壊の危険がある建物の件数の推移はどうか。

A 下野生活環境課長 平成22年では549戸の空き家が25年には674戸に増加。管理不良と判断された建物は、同じく201戸から269戸に増加。倒壊の危険がある建物、この判断は消防署員が建物を外観から判断したもので同じく14戸から41戸に増加している。

Q 間もなく空き家対策推進特別措置法が施行されるが、滑川市の条例はいつからになるか。

A 下野生活環境課長 今後国から特定空き家等について必要な省令、特定空き家等に対する措置のガイドラインなどが示されることになっており、それらを含めて旧市街地

活性化推進検討委員会にて検討していく。

Q 特定空き家の所有者に対して助言または指導しても改善しない場合は、固定資産税の優遇措置の対象からの除外は条例になるか。

A 下野生活環境課長 これから国が定める特定空き家等に対する措置のガイドラインの内容を見極めながら、条例での表現をどのようにするか検討したい。

Q 滑川市立図書館リニューアル工事のコンセプトはあるか。

A 上坂生涯学習課長 目指す姿という形で、「憩う」「支える」「ふるさとを知る」「変わる」「まなぶ」ということを一つの指す姿として、これに伴って各階のリニューアルを

していきたい。

Q 喫茶コーナーの運営はどんな内容になるか。

A 上坂生涯学習課長 図書館の2階に憩いの空間を設ける計画にしており、出店企業を募集したいと考えている。

Q 市のイメージアップキヤラクターキラリンの絵本についてどのような形で制作していくのか。

A 上坂生涯学習課長 キラリンの絵本の制作については、子どもたちの夢をキラリンで描くとしており、子ども図書館でのワークショップを活用しながら、物語風にするなど、市内の名所、旧跡の案内などを考えている。

一般質問



・社会環境の整備について

中島 勲 議員

Q 高齢化社会への対応は早急に対策を立てていく必要があるが、滑川市の総合計画が後期を迎えるにあたりどう取り入れるのか。

できる健康長寿社会を目指す施策などについて盛り込むことも想定される。

等の利活用を促進することを目的に昨年11月に制定、ことしの5月に施行される特別措置法を追い風として危険老朽空き家対策をさらに進めていくこととしており、この法律の有効活用、既存の空き家関係の要綱、空き家の有効活用など含め旧市街地活性化検討委員会で検討していきたい。

A 熊本企画政策課長 前期基本計画で介護予防教室の充実、老人クラブやふれあいサロンの充実と組織の育成、ケアネット体制の拡充や地域見守り支援体制の確立などに取り組んできた。後期基本計画を策定するにあたり、前期の結果を検討し既存制度の拡充、新たに取り組む事業などについて検討する。

A 児島まちづくり課長 現在策定中の計画には、将来の人口規模、年齢構成に即した都市づくりの検討のほか、各種施策の積極的な展開により、人口減少を軽減することや誰もが安心して暮らせるまちづくり等を考慮した都市計画の基本方針を設定し協議している。

Q 住宅密集地の火災対応としてシミュレーションをやったことはあるのか。

A 熊本企画政策課長 現段階ではまだ決まっていないが、健康寿命を延ばし、高齢期もできる限り就労

A 下野生活環境課長 空き家が防災、衛生、景観等の地域住民の生活環境に深刻な影響を及ぼしていることから、地域住民の生命・身体・財産の保護、生活環境の保全や空き家

A 濱谷消防署長 消防署では住宅密集地での訓練を想定するかということ、持っている装備、水利状況、道路状況を勘案して訓練を重ねている。

一般質問



3 2 1

道の駅ウエーブパークなめりかわの活性化について
中滑川駅周辺地域の今後の計画について
新たな姉妹都市の提携について

水野 達 夫 議員

Q 道の駅を地域の賑わいの拠点と位置付け、地域

資源を生かした地場産野菜や例えば魚の直売所等の設置を検討できないか。

A 膳亀農林課長 地場産野菜や魚の直売所等の設置

については、その場所への集客の手法、駐車場の確保等の問題があることから困難であると考えている。

Q 道の駅の施設の一部にはまなす公園が位置付けられている。この公園の整備計画及び今後の整備方針はどうか。

A 長井公園緑地課長 公園

については、供用開始後29年余り経過し、老朽化が見受けられることや市の重要イベントの舞台となつてることから、平成13年10月に策定した基本設計をもとに、市民や

利用される方々から広く意見を聞きながら今後進めてまいりたい。

Q 道の駅に物販ゾーンを確保する意味でも建物及び機械設備が老朽化しているタラソピアの廃止も含めて検討してはどうか。

A 上田市長 塩害により建物が腐食しており、直

せる状況ではない。健康教室は意外と好評のようである。また、費用対効果を考えれば、民間なら潰れている。これらのことを総合的に勘案しながら今後の方向を決めていきたい。

Q 中滑川駅周辺の土地の取得に関しての進捗状況はどうか。

A 杉田財政課長 市長の命

を受けて、現在、地権者であるJ Aアルプスや富山地方鉄道に対し、土地

取得に向けた交渉を進めているところである。今後の予定として、年内のなるべく早い時期に土地

開発基金による先行取得をしたいと考えている。

Q 市内企業等でベトナム人を実習生として受け入れている。また、ここ5年間継続して開催されて

いるベトナムランタンまつりも年々来場者が増えている。ベトナムとの新たな姉妹都市提携を考えるとみてはどうか。

A 石川副市長 そろそろ新しい姉妹都市はどうだ

というような市民のご意向あるいは盛り上がりがあるいは重要である。まず、

いろいろな情報を収集しながら、市民の皆さん方も含めて一緒に考えていきたい。

一般質問



3 2 1

介護保険について
核兵器のない世界に向けて
通学の安全のために

角川 真人 議員

Q 要支援とされる人の訪問介護と通所介護が介護

保険給付の対象から外されようとしている。施設の利用や、生活・自立支援のための援助など、生活になくはならないサービスを介護保険から切り

替えるのは生活に与える影響が大きいと考える。現状ではどのような動き

になっているか。

A 藤田福祉介護課長 新し

い体制への移行については実施可能な組織の発掘、報酬単価の決定など準備

のために猶予期間を設けることができ、平成29年4月から開始する予定で

準備を進めていく。

Q 昨年12月に市の後援を受けて「原爆と人間」写真展が開催された。1回

で終わらせず毎年8月に市の主催で原爆写真展を

行つてはどうか。

A 熊本企画政策課長 本年

は被爆70周年に当たるといことから8月に実施することができるよう手続きを進めたい。

Q 中学校の修学旅行で広島へ行ったり、小学校でも平和について考える学習を行っている。魚津市・入善町では広島

の平和記念式典に小学生を派遣している。滑川市

からも子どもたちによる使節の派遣ができないか。

A 熊本企画政策課長 福平

和記念式典への参加は現在のところは考えていないが、現地の市民の皆さんと恒久平和への願いを

共有することは大変意義深いと考えている。今後検討したい。

Q 学校周辺の歩道だけでなく門の中も暗いと聞い

た。実際に夜間に見に行

くと広さの割に明るさが

足りず人の顔もわからない暗さだった。不審者がいてもわからないと心配される方もいるため、電

灯を夜もつけておくことはできないか。その上で足りないと思われるところに追加してもらいたい。

A 坂口学務課長 中学校に

おいては、駐輪場などは

時間設定で明かりがつく

ようになっていく。部活動などで暗くなる時期には登下校に注意するよう

に学校からも生徒に注意を払っているし、不審者等の心配についても集団

で2・3人で帰る、電灯をつけて帰るなど注意を払っている。

一般質問



高木悦子議員

4 3 2 1

地方創生に取り組み姿勢を問う
担い手不足の解消には、企業の協力が不可欠ではないか
マイナンバー制度導入に係る混乱を危惧する
ふるさと納税に対する考え方を問う

Q 国の地方創生人材支援

制度の、大学研究者などを市長の補佐役として派遣する支援策を受けないと決定した理由は何か。

A 熊本企画政策課長 市長をトップとして進めるの

で必要ないと判断した。Q 予算案を見ても市長の提案理由を聞いても、地方創生の真剣度が伝わらない。滑川市の地方創生にかける本気度を問う。

A 上田市長 地方創生の中身は、私が既にやっていることだ。Q 団塊世代が75歳以上になる2025年問題で、担い手不足が予想される。女性の活力が不可欠だが、ワーク・ライフ・バランス抜きに現状は変わらない。企業に対する情報提供や働き掛けの現状は。

A 網谷商工水産課長 県主

催の企業の管理職等を対象とした研修会が開催され、市のホームページで周知している。

Q 消防団でも人材不足になっている。企業内に消防団員がいるメリットを周知して、団員を輩出するように依頼できないか。

A 濱合消防所長 消防団員が従事して自衛消防組織が強化されることを説明し、企業に理解と協力を求めている。

Q 富山県東部消防組合で4市町村が一つになった。市外から市内企業に勤めている方が滑川市の消防団で活動できるように、組合で検討して欲しい。

A 濱合消防所長 消防団で広域の意見交換もしてお

り、今後参考にしたい。Q マイナンバー制度の広報の対策はどうするのか。

A 熊本企画政策課長 個人番号の通知、個人番号カードの交付・利用に向けて適宜広報していく。

Q 3万枚の個人番号カードの発行に混乱はないか。

A 濱松市民課長 手続きを広報等で事前周知し窓口体制を整え対応する。

Q ふるさと納税の寄付者側の負担軽減策、クレジットカード利用など利便性の向上はしないのか。

A 熊本企画政策課長 費用対効果の観点を踏まえて検討したい。

Q 滑川市民に対して、滑川市へのふるさと納税をアピールしてはどうか。

A 熊本企画政策課長 積極的には呼びかけない。

一般質問



尾崎照雄議員

4 3 2 1

地方版総合戦略について
滑川版ネウボラについて
プレミアム商品券について
データヘルスについて

Q 地方版総合戦略について総合計画との整合性はとれているのか。

A 熊本企画政策課長 滑川市総合計画審議会において総合計画を策定、審議していくとともに、総合戦略についても審議、検討してもらう予定にしており、整合性が図られていくと考えている。

Q 地方版総合戦略のスケジュールは。

A 熊本企画政策課長 策定期間については、平成27年10月ごろをめどにしたいと考えている。

Q 滑川版ネウボラ調査・計画は。

A 砂田子ども課長 結婚、妊娠、出産、育児までの切れ目のない相談や支援の体制を構築していくために、これからの滑川市

のあり方、現在の子育て支援の事業や人的資源を活用しながら、これからの新しい支援のあり方を調査研究していきたい。

Q プレミアム商品券発行事業について、どのような内容か。

A 網谷商工水産課長 販売総額1億5千万円、うち3千万円を飲食店専用とするとともに、プレミアム分を2割に拡充することにより、プレミアム分を含めた商品券の発行総額は1億8千万円で、個人消費の拡大と地域経済の活性化を期待するものである。独自性としては、今回初めて飲食店専用の商品券を発行することとしており、飲食店マップの配布とあわせて実施することで「食べる、飲むことの楽しいまち滑川」

を多くの方に知ってもらう機会となればと考えている。スケジュール等については、発行主体となる滑川商工会議所などと連携を図りながら進めていきたい。

Q 国民健康保険事業におけるレセプトデータ活用によるデータヘルスについて本市も検討してはどうか。

A 濱松市民課長 国保データベースが稼働したことにより、保険者は医療費を分析し、市の特性や課題を明確化することができるといった。また国民健康保険加入被保険者ごとの健康問題も分析が可能となる。そのシステムを活用しデータの分析を行い、データヘルス計画を現在策定している。

一般質問



2 1 観光について 教育について

開田 晃江 議員

Q ほたるいかミュージアムに大きな石が点在しているが、どのような句が詠まれているか、銘板をつくって埋め込み、滑川市がホタルイカを大事にしていることをアピールしては。

A 碓井産業民生部長 プレートを設置するというの

Q 特別天然記念物ホタルイカ群遊海面というどこにもない宝物を持っている滑川市は、新幹線からの眺望という地の利、新幹線開通という時の利を生かして食で勝負を。

A 碓井産業民生部長 ホタルイカは、今が旬の時期で観光にいいと思う。そこで、今年から飲食店専

用のプレミアム商品券を予定している。滑川の新鮮な食材を活用して、光彩をはじめ市内の飲食店で提供してほしい。

Q 光彩は現在、滑川市の直営で営業しているが、漁業協同組合とホタルイカの買い取り契約をしてはどうか(年間100キログラムとか)。

A 上田市長 ホタルイカについては現在も協力してもらっている。入ってくるルートは卸売屋から

Q 標準学力検査(CRT)の実施とあるが、効果と検証は。

A 伊東教育長 市内全児童を対象に、国語と算数

の2教科で実施している。2学期までの学習内容について学力の実態を把握し、結果を分析することで3学期以降の授業の改善に役立てる。学力の向上につながっている。

Q 小学校と中学校の連携はどうか。

A 伊東教育長 学習サポートについても、中学校の教員が英語やその他の教科指導あるいは専科指導の面で小学校を応援するということも今後必要になると考えている。そうした小中の連携について、あるいは連携の仕方について一層研究を進めていく。

実施する市内の団体には、開催費用等を補助することで、結婚を希望する男女の出会いや結婚のきっかけとなるよう支援していきたいと考えている。

Q 市職員の健康管理の観点から、健康診断の受診状況は。

A 岡本総務課長 職員の健康診断については、昨年11月に3日間にわたり実施しており、受診状況は、受診率81・9%となっている。人間ドッグの受診状況を合わせると2月末段階では全ての職員が受診しており、受診率は100%となっている。

一般質問



3 2 1 婚活支援事業について 職員の健康管理について 農業の振興について

原 明 議員

Q 婚活事業の取り組みについて。

A 熊本企画政策課長 婚活支援事業の取り組みについては東福寺野自然公園でのバーベキューや、滑川産食材を用いたクッキングなど、特色を活かしたイベントの開催や、婚活セミナー、婚活入門、パートナーの見つけ方、コミュニケーション能力アップ講座などの婚活セミナーの開催を予定している。婚活イベント等を実施する市内の団体には、開催費用等を補助することで、結婚を希望する男女の出会いや結婚のきっかけとなるよう支援して

Q 市職員の健康管理の観点から、健康診断の受診状況は。

A 岡本総務課長 職員の健康診断については、昨年11月に3日間にわたり実施しており、受診状況は、受診率81・9%となっている。人間ドッグの受診状況を合わせると2月末段階では全ての職員が受診しており、受診率は100%となっている。

Q 平成27年12月より施行されるストレスチェック制度、メンタルヘルス対策への取り組みについて。

A 岡本総務課長 ストレス対策を中心として、メンタルヘルス研修会や産業医、職員で構成する衛生委員会等で意見交換を実施している。

Q 学校給食への滑川産野菜の供給量、使用率、品目の今年度の状況について。

A 膳亀農林課長 野菜の総使用量は、今年2月末で、

83品目、97・4トン。滑川産野菜の使用量は2月末で52・7トン、使用率で54・2%となっており目標の40%を大きく上回っている。滑川産野菜の使用品目数は、2月末現在で73品目となっている。

Q 農地中間管理機構への取り組みの中、農地を引き受ける担い手と農地を出される貸し手の状況は。

A 膳亀農林課長 借り受ける担い手は、72の経営体から応募があり、貸し手については、16の農家から22・6ヘクタールの申し出があり、借り受け者との調整の結果、全農地が8つの経営体で借り受けることとなり、受けていない農地はなかったところである。

その他の質問事項 Q 市営住宅の入居状況について

その他の質問事項 Q 市営住宅の入居状況について

その他の質問事項 Q 市営住宅の入居状況について

一般質問



4 3 2 1

子どもたちの学力・体力向上について
子育て支援について
観光振興について
学校給食について

竹原 正 人 議員

Q 土曜学習モデル事業でさまざまな課題がある中、保護者へのアンケート調査の結果を踏まえ教育委員会で検証されたのか。

A 坂口学務課長 児童・生徒の出席はおおむね良好、各学校では外部講師、保護者、地域の方々の協力も得て各学校の特色を生かした授業や学校行事等が行われたところである。授業時間数が変わらないのに学力向上につながるのかといった意見が中心のものであった。

Q A L T、スタディ・メイトが増員された理由は。

A 坂口学務課長 小学校での英語教科化を視野に入れ、今回小学校専任のA L Tを増員する。スタディ・メイトについては近年児童・生徒が増加傾向にある

り、学校からの要望も強いことから増員した。
Q A L Tの代わりに姉妹都市交流の一環としてシャーパーグ市に住む語学講師として働きたい市民を募って事業展開をしたらどうか。
A 上田市長 一考に値すると思う。新しい提案であり、いただきたい。
Q 放課後児童クラブの利用者増に向けた取り組みと支援員の処遇改善は。
A 砂田こども課長 来年度より支援員の配置基準を見直す。地域のニーズや実情に応じて開所時間を延長するクラブの支援員については賃金の上乗せを図るところである。
Q インフルエンザ予防接種事業の接種率が5割ないしは6割強であれば、医療機関に子どもを連れ

てくるお母さんにも、ついでに受けていただくことに対する助成をしたらどうか。
A 上田市長 親のインフルエンザの補助については研究の余地がある。
Q 新幹線の車窓から見ると滑川市内での大型看板等の設置について当局の見解は。
A 網谷商工水産課長 新幹線沿線に市のP R看板等を検討しており総合的に検討してベストなものを考えてまいりたい。
Q 学校給食だよりに滑川産以外の食材について産地記載がない。対応はできなにか。
A 坂口学務課長 産地表示について、今後は給食だよりとともに、ホームページ等でお知らせする予定で準備を進めている。

一般質問



2 1

地域の環境整備に関して何う
各種事業（滑川運動公園・安田工業団地
第4期工事）について地元とのコンセン
サスがはかられているか

高橋 久 光 議員

Q 早月川、上市川、郷川の堤防の管理や中州の処理の徹底を図ってほしい。現在、草や雑木が生え放題という状況で、県の管理下ではあるが、大変心配をしている。
A 岩城建設課長 議員が言うとおり、県管理の河川であり、管理者である県に対し要望を行ってきている。
Q いをのみ公園から滑川運動公園までのハイキングコース、ランニングコースが整備されている。草が繁茂する時期になると、景観的にも悪くなり、どう対応するのか伺う。
A 岩城建設課長 ウオーキングコースについては、27年度予算で年2回程度の路肩から2メートル程度の草刈りの予算を計上している。明かりについ

ては、現時点では困難である。
Q 安田工業団地第4期工事予定地周辺に、平塚川や改養寺川の用水が流れている。前に中州の除去の件についても言ったが、第4期工事になるとその川を両脇にまたぐ格好になり、こういった川の配慮をどう考えているか。
A 岩城建設課長 平塚川や改養寺川等についても、他の二級河川と同様に、良好な河川環境の維持が図られるよう県に引き続き働きかけていきたい。団地周辺の用排水路等については、施設管理者である滑川南部土地改良区や地元の方々と調整を図り、機能確保など都合が生じないよう対応することとしている。
Q 工業団地としてふさわ

しい企業誘致やそれに伴う環境づくり、近隣民家や町内の理解も不可欠だが、対応状況は。
A 網谷商工水産課長 関係する各町内会長に、地権者との接触の仕方、地元説明会の開催等について説明をさせていただいた。近隣民家等に迷惑のかわらない緩衝帯、緑地等必要な施設については関係法令に基づき整備している。

Q 滑川運動公園については工事が進められているところだが、未買収地があることも大変心配している。根気強く対応や交渉をさせていただいてきたが、再度考えを伺う。
A 長井公園緑地課長 未買収地については、事業着手を機に地元の協力を得ながら交渉を進めたい。

一般質問



21

高齢化社会に向けての取り組みについて
 シャンバーグ市との姉妹都市交流事業について

谷川 伸治 議員

Q 団塊世代が75歳以上となる2025年問題において、介護士が不足すると考えるが、今後介護士の養成についてどのように対応されるのか。

A 藤田福祉介護課長 以前社会福祉協議会でヘルパー養成講座を開いたが、ハローワークの講座と重複し受講者が集まらなかったため廃止した。今後必要となれば、社会福祉協議会などと協議して対応していく。

Q 在宅介護者への支援として在宅介護教室の開催と、その案内はどうされたのか。

A 藤田福祉介護課長 在宅介護教室は、昨年8月にはつらつシニア介護実習講座を開催し、17名の受講者があり、おおむね好評であり、平成27年度も

実施する予定である。市の広報を通じて、講座の開催を案内し、市の老人クラブ連合会の協力を得て周知した。

Q 認知症高齢者は2025年に約73万人、65歳以上の5人に1人まで増加すると試算。認知症の広がりに対し、行政、地域

家族が三位一体となり支援する体制を築くことが大切だと言われ、今後は地域福祉を目指した地域包括ケアシステム、地域のつながりの構築が必要と思っているが。

A 藤田福祉介護課長 地域包括ケアシステムの構築

に向け、在宅医療の推進や医療・介護の連携、認知症対策、地域支え合い活動の普及の事業をさらに充実させ実施する。

Q シャンバーグ市との姉

妹都市交流事業の現在の進捗状況は。

A 上坂生涯学習課長 シャン

バーグ姉妹都市交流委員会の担当者として日程や交流内容等について連絡している。

Q シャンバーグは日本人が1千700人近く在住し、ドゥーリー小学校では日本語授業もあり、姉妹都市交流に十分協力いただける環境で、今後シャンバーグ市の行政にも協力をもらい事業計画を進めていく必要があると考えるが。

A 上坂生涯学習課長 シヤ

ンバーグの各姉妹都市交流は、姉妹都市交流委員会を通して行われており、市への連絡も当該交流委員会を通して行われており、今後とも窓口を一本化して交渉を進める。

委員会

3月定例会の委員会の
 審査から

3月定例会の各委員会では、付託された議案について慎重に審査が行われました。主な項目等は次のとおりです。

総務文教委員会

審査議案は17議案であり、議案はいずれも原案のとおり可決しました。

▼議案第1号 平成27年度滑川市一般会計予算

▼議案第9号 平成26年度滑川市一般会計補正予算(第6号)

▼議案第14号 市教育長の勤務時間、休暇等及び職務に専念する義務の特例に関する条例の制定について

▼議案第17号 滑川市地域交流センター条例の制定について

▼議案第18号 滑川市議会議務活動費の交付に関する条例の一部を改正する条例の制定について

▼議案第19号 滑川市行政手続条例の一部を改正する条例の制定について

▼議案第20号 滑川市の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について

▼議案第21号 滑川市立保育所条例の一部を改正する条例の制定について

▼議案第23号 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について

◆議案第25号 滑川市民会館の指定管理者の指定について

◆議案第26号 滑川市営駐車場の指定管理者の指定について

◆議案第27号 滑川市自転車駐車場の指定管理者の指定について

◆議案第40号 滑川市東福寺野自然公園研修センターの指定管理者の指定について

◆議案第41号 滑川市総合体育センターの指定管理者の指定について

◆議案第42号 滑川市みのわテニスコートの指定管理者の指定について

◆議案第43号 滑川市下梅沢テニスコートの指定管理者の指定について

◆議案第44号 滑川市千鳥スキー場の指定管理者の指定について

民生環境委員会

審査議案は13議案であり、議案はいずれも原案のとおり可決しました。

▼議案第1号 平成27年度滑川市一般会計予算

▼議案第2号 平成27年度滑川市国民健康保険事業特別会計予算

▼議案第3号 平成27年度滑川市後期高齢者医療事業特別会計予算

▼議案第4号 平成27年度滑川市介護保険事業特別会計予算

▼議案第9号 平成26年度滑川市一般会計補正予算(第6号)

▼議案第10号 平成26年度滑川市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)

▼議案第11号 平成26年度滑川市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)

▼議案第15号 滑川市指定介護予防支

- ◆ 授等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の制定について
- ◆ 議案第16号 滑川市地域包括支援センターの職員及び運営に関する基準を定める条例の制定について
- ◆ 議案第22号 滑川市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について
- ◆ 議案第28号 浜加積地区福祉センターの指定管理者の指定について
- ◆ 議案第29号 滑川市シルバークプラザの指定管理者の指定について
- ◆ 議案第30号 滑川市ゲートボール場の指定管理者の指定について

産業建設委員会

審査議案は18議案であり、議案はいずれも原案のとおり可決しました。

- ▼ 議案第1号 平成27年度滑川市一般会計予算
- ▼ 議案第5号 平成27年度滑川市下水道事業特別会計予算
- ▼ 議案第6号 平成27年度滑川市農業集落排水事業特別会計予算
- ▼ 議案第7号 平成27年度滑川市工業団地造成事業特別会計予算
- ▼ 議案第8号 平成27年度滑川市水道事業会計予算
- ▼ 議案第9号 平成26年度滑川市一般会計補正予算（第6号）
- ▼ 議案第12号 平成26年度滑川市下水道事業特別会計補正予算（第2号）
- ▼ 議案第13号 平成26年度滑川市水道事業会計補正予算（第2号）
- ◆ 議案第24号 地方自治法第179条による専決処分の承認を求めることについて

- ◆ 専決第10号 平成26年度滑川市一般会計補正予算（第5号）
- ◆ 議案第31号 滑川市農村研修センターの指定管理者の指定について
- ◆ 議案第32号 滑川市農村環境改善センターの指定管理者の指定について
- ◆ 議案第33号 滑川市産業研修センターの指定管理者の指定について
- ◆ 議案第34号 滑川市勤労身体障害者教養文化体育施設の指定管理者の指定について
- ◆ 議案第35号 滑川市漁民センターの指定管理者の指定について
- ◆ 議案第36号 滑川市ほたるいか観光施設の指定管理者の指定について
- ◆ 議案第37号 滑川市海洋深層水分水施設の指定管理者の指定について
- ◆ 議案第38号 滑川市運動公園の指定管理者の指定について
- ◆ 議案第39号 滑川市東福寺野自然公園の指定管理者の指定について

第1回臨時会の委員会の審査から

第1回臨時会の常任委員会では、付託された議案について慎重に審査が行われました。主な項目等は次のとおりです。

総務文教消防委員会

審査議案は1議案であり、原案のとおり可決及び承認しました。

- ◆ 議案第49号 工事請負契約の締結について（滑川市児童館改築工事（建築主体））

議会放送と録画放送等のご案内



市議会定例会の本会議の様子は、ケーブルテレビ21チャンネル（アナログは8チャンネル）で、生放送及び録画放送を実施しております。次回の市議会定例会の本会議の放送は、6月に予定しておりますので、是非、ご視聴ください。なお、定例会の日程及び放送時間等については、市広報（6月号）・ケーブルテレビ等を通じてご案内します。

議会報編集委員会から

「市議会だより」について、皆さんのご意見をお寄せください。市議会の本会議は、ケーブルテレビで放送しておりますが、議場で直接、傍聴してみませんか。詳しくは、事務局までご連絡ください。

電話 475-2111（内線371）

議会報編集委員

- 高橋久光委員長 谷川伸治副委員長
- 角川真人委員 竹原正人委員
- 尾崎照雄委員 中島 勲委員

3月定例会での①議員提出議案、②意見書提出要請、③要望書について

件名及び提出者

処理結果

- ① 議員提出議案（3件）
 - 1 議員提出議案第1号 北朝鮮による日本人拉致問題の早期解決を求める意見書 ……本会議結果=可決
滑川市議会議員 高橋久光 外5名
 - 2 議員提出議案第2号 介護報酬引き下げ撤回・介護労働者の処遇改善と人材確保に関する意見書 ……本会議結果=否決
滑川市議会議員 古沢利之 外2名
 - 3 議員提出議案第3号 持続可能な地域農業への改革を求める意見書 ……本会議結果=否決
滑川市議会議員 水野達夫 外2名
- ② 意見書提出要請（7件）
 - 1 北朝鮮による日本人拉致問題の早期解決を求める意見書 ……議会運営委員会一致
北朝鮮に拉致された日本人を早期に救出する富山県市議会議員連盟
会長 中川 勇

件名及び提出者	処理結果
2 安全・安心の医療・介護の実現と夜勤改善・大幅増員に関する意見書 富山県医療労働組合連合会 執行委員長 大浦 義 憲	議会運営委員会不一致
3 介護報酬引き下げ撤回・介護労働者の処遇改善と人材確保に関する意見書 富山県医療労働組合連合会 執行委員長 大浦 義 憲	議会運営委員会不一致 (議員提出議案第2号へ)
4 TPP交渉に関する意見書 農民運動富山県連合会 代表者 大橋 国 昭	議会運営委員会不一致
5 農協改革など、「農業改革」に関する意見書 農民運動富山県連合会 代表者 大橋 国 昭	議会運営委員会不一致 (議員提出議案第3号へ)
6 米価対策の意見書 農民運動富山県連合会 代表者 大橋 国 昭	議会運営委員会不一致
7 生活困窮者自立支援法の下、富山県に東部生活自立支援センターの拡充と 「子どもの学習支援事業」推進の意見書 新川・生活と健康を守る会(準) 代表 稲村 功	議会運営委員会不一致
③ 要望書(3件)	
1 要望書(一般廃棄物処理業務委託について安定かつ恒常的な適正契約締結について等) (一社)日本環境保全協会 会長 宇田川 育 男 外2団体	全議員へ参考配付
2 要望書(浄化槽の信頼向上と安心して使える対策について等) 富山県環境保全協同組合 理事長 上田 勝 朗 外1団体	全議員へ参考配付
3 地球社会建設決議に関する陳情書 荒木 寛	全議員へ参考配付

3月定例会での本会議の結果について

議案内容等	採決結果
◎議案第1号(分離採決) 平成27年度滑川市一般会計予算 賛成者=青山・竹原・尾崎・谷川・水野・高木・原・中島・浦田・開田・中川・高橋 反対者=角川・古沢	原案可決(賛成多数)
◎議案第4号(分離採決) 平成27年度滑川市介護保険事業特別会計予算 賛成者=青山・竹原・尾崎・谷川・水野・高木・原・中島・浦田・開田・中川・高橋 反対者=角川・古沢	原案可決(賛成多数)
◎議案第11号(分離採決) 平成26年度滑川市介護保険事業特別会計補正予算(第2号) 賛成者=青山・竹原・尾崎・谷川・水野・高木・原・中島・浦田・開田・中川・高橋 反対者=角川・古沢	原案可決(賛成多数)
◎議案第22号(分離採決) 滑川市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について 賛成者=青山・竹原・尾崎・谷川・水野・高木・原・中島・浦田・開田・中川・高橋 反対者=角川・古沢	原案可決(賛成多数)
◎議案第2号~議案第3号、議案第5号~議案第10号、議案第12号~議案第21号、議案第23号~議案第44号 平成27年度滑川市国民健康保険事業特別会計予算 外39件	原案可決・承認(賛成全員)
◎議案第45号 滑川市固定資産評価審査委員会の委員の選任について	原案同意(賛成全員)
◎議案第46号 人権擁護委員候補者の推薦について	原案異議なし(賛成全員)
◎議案第47号 人権擁護委員候補者の推薦について	原案異議なし(賛成全員)
◎議案第48号 人権擁護委員候補者の推薦について	原案異議なし(賛成全員)
◎議員提出議案第1号 北朝鮮による日本人拉致問題の早期解決を求める意見書	原案可決(賛成全員)
◎議員提出議案第2号 介護報酬引き下げ撤回・介護労働者の処遇改善と人材確保に関する意見書 賛成者=角川・水野・古沢 反対者=青山・竹原・尾崎・谷川・水野・高木・原・中島・浦田・開田・中川・高橋	原案否決(賛成少数)
◎議員提出議案第3号 持続可能な地域農業への改革を求める意見書 賛成者=角川・水野・古沢 反対者=青山・竹原・尾崎・谷川・水野・高木・原・中島・浦田・開田・中川・高橋	原案否決(賛成少数)

第1回臨時会での結果について

議案内容等	採決結果
◎議案第49号 工事請負契約の締結について	原案可決(賛成全員)